

壱分北地区、開発の熟度は高まったのか？

地区計画区域内の建築物の制限に関する条例の改正



従来の地区計画区域に学研生駒テクノエリア北地区と壱部北地区を加える「生駒市地区計画区域内の建築物の制限に関する条例」の改正案が3月定例会に提出されました。良好な環境を整備する条例の趣旨上、本来は何の問題もない条例改正ですが、壱分北地区については次のような問題が残っているため、塩見は浜田議員とともに条例改正の対象区域から壱部北地区のみを外す本会議修正動議を提出しましたが、動議は賛成少数で否決。原案が可決しました。

問題1:開発許可までまだ5合目？

市は、昨年8月に開発事業者（株式会社大岡産業）が奈良県に開発許可申請したことをもって開発の熟度が高まったと判断し、12月に都市計画決定したとのことですが、開発許可申請に関する県の情報開示文書を見ると、県は開発事業者に対して昨年11月と12月に2回にわたり計36か所の補正を指示しているものの、3月12日の経済建設委員会の議案審査時においても補正後の申請書は提出されていませんでした。市からも、県の審査は約半分くらいしか進んでいないとの感覚であるとの答弁があり、熟度が高まったとはいえないと判断されました。

問題2:正体不明な盛土計画

また、開発許可申請に添付されている土地利用計画図からは、開発区域に隣接する生産緑地（右上地区計画図中、赤枠開発区

壱分北地区の地区計画図→
(生駒市ホームページから一部加工)



域外の黄緑色部分）に盛土計画があることもわかりましたが、この生産緑地は開発造成協力地なのか、開発とは無関係の農地造成なのか、開発計画との位置づけも不明確で、このままでは責任ある議決ができません。

都市計画変更のスタートが尾を引く

市の権限で行われるべき用途地域の変更ですが、当初、壱分北地区では開発事業者の描く土地利用計画図に合わせて用途地域変更素案が作成されました。そのため、令和4年3月に開催された生駒市都市計画審議会でも「開発許可を下ろそうと思うと現行の用途地域に整合していないと開発許可は下ろせないし、現行の制度からいくと商

業施設を入れようと思うと用途地域を変更しないといけない」と会長から指摘があり、「最終的には開発申請の許可が出されるとタイミングを一にして都市計画決定をしていく」ことになりました。

都市計画変更のスタートのまずさが現在も尾を引いています。

地区計画区域内の建築物の制限に関する条例改正案の採決結果 (吉村議長は採決に加わらず。敬称略。)

賛成 17	福中・白本・片山・改正・森・橋本（以上 凛翔絆）、恵比須・成田・山下（以上 生駒市議会公明党）、梶井・辰巳・芦谷（以上 日本維新の会）、伊木・神山・中嶋・中尾・高杉（以上 無会派）
反対 4	浜田・竹内（以上 日本共産党）、加藤・塩見（以上 無会派）

ご報告

新会派「無所属の会」を結成しました。

この度、神山議員、中嶋議員、中尾議員と4人で新会派「無所属の会」の結成届を提出しました。ここ数年、議会運営委員会は政党または政党中心の会派だけで全席を占めており、かつては台本にない発言も当然のようにありましたが、最近は「確認の場」となっていました。多様な委員構成にすることが委員会の活性化につながると考え、会派結成に至りました。「無所属の会」では議案審査にあたっては合意形成に努めますが、会派で賛否を拘束はしません。

サロン
ド
しおみ

茶論・de・403

日時：5月25日(土) 13:30～16:00
場所：南コミュニティセンターせせらぎ セミナー室 303
テーマ：
① 行政の仕事って何？限られたリソースをどこに振り向ける？
② 議会の仕事って何？ダメなものはダメと言える議会へ

参加費無料。
途中入退室も可能です。

ご協力をお願いいたします

ご近所に数十枚でもニュースレターをポスティングしていただませんか？ご協力いただける方は、このページ最下段の連絡先までご連絡いただければ幸いです。

編集後記

●ニュースを発行する際は、毎回、ひとりでも多くの方に市政の実態や自身の思いが伝わりますようにと祈るような気持ちです。感想を寄せていただくなど反応が返ってくると作成の甲斐があったと感じられて本当に嬉しく、また頑張ろうと思えます。

塩見 牧子

し
お
み

塩見まきこ

“まっすぐ”が通る生駒に！

市議会 newsletter 2024 年／春号



Contents

Page2	ヤミ採用!?特定企業からの派遣人材人件費をキックバック
Page3	大阪万博関連予算の費用対効果は？ / 徴税の公平性の確保は？ 限られた人的リソースの有効活用を / ハラスメント防止条例は継続審査に
Page4	壱分北地区、開発の熟度は高まったのか？ ご報告 / 茶論・de・403 / ご協力をお願いいたします / 編集後記

※各記事の見出しのQRコードからより詳しいブログ記事をお読みいただけます。

塩見牧子（しおみまきこ） 1965年3月8日大阪生まれ。1972年に生駒に移り住む。生駒東小学校、緑ヶ丘中学校、京都女子高等学校、同大学卒業。同大学大学院文学研究科修了。会社員、学校図書館司書、中・高非常勤講師を経て2007年4月、生駒市議会議員に初当選。①将来世代に元気なまちのバトンを渡す、②誰もが生きづらさを感じることなく暮らせる共生社会をつくる、③フェアで市民本位の市政運営を築くための取組みやしくみづくりの提案を活動公約としています。

塩見まきこのプロモーションビデオ(PV)
「“まっすぐ”が通る生駒に！」

